



薬剤部

～情報～

2020年4月



3月の採用薬品（常備薬品）

タリージ錠 5mg 末梢性神経障害性疼痛治療剤 第一三共



【効】末梢性神経障害性疼痛
 【用】通常、成人には、ミロガバリンとして初期用量1回5mgを1日2回経口投与し、その後1回用量として5mgずつ1週間以上の間隔をあけて漸増し、1回15mgを1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により1回10mgから15mgの範囲で適宜増減し、1日2回投与する。
 【副】添付文書参照

スキャンドネストカートリッジ3% 歯科用局所麻酔剤

無色澄明の液

【効】歯科・口腔外科領域における浸潤麻酔
 【用】通常、成人には1管1.8mL（メピバカイン塩酸塩として54mg）を使用する。
 なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減するが、増量する場合には注意すること。
 【副】添付文書参照

サムスカOD錠 7.5mg V2-受容体拮抗剤 大塚製薬



【効】 【用】
 (1) 心不全における体液貯留の場合：
 通常、成人にはトルバプタンとして15mgを1日1回経口投与する。
 (2) 肝硬変における体液貯留の場合：
 通常、成人にはトルバプタンとして7.5mgを1日1回経口投与する。
 (3) 常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制の場合：
 通常、成人にはトルバプタンとして1日60mgを2回（朝45mg、夕方15mg）に分けて経口投与を開始する。1日60mgの用量で1週間以上投与し、忍容性がある場合には、1日90mg（朝60mg、夕方30mg）、1日120mg（朝90mg、夕方30mg）と1週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は1日120mgまでとする。

3月の採用薬品（常備薬品の続き）

アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg 「日新」 小児用解熱鎮痛剤 日新製薬



【効】小児科領域における解熱・鎮痛
 【用】通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10～15mgを直腸内に挿入する。投与間隔は4～6時間以上とし、1日総量として60mg/kgを限度とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。
 【副】添付文書参照

3月の採用薬品（特定個人薬）

ニュープロパッチ 18mg ドパミン作動性パーキンソン病治療剤 大塚製薬



【効】パーキンソン病
 【用】通常、成人にはロチゴチンとして1日1回4.5mg/日からはじめ、以後経過を観察しながら1週間毎に1日量として4.5mgずつ増量し維持量（標準1日量9mg～36mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、1日量は36mgを超えないこと。
 本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。
 【副】添付文書参照

3月の採用薬品（院外処方専用薬品）

ラスビック錠 75mg キノロン系経口抗菌剤 杏林製薬



【効】 【用】 【副】 添付文書参照

採用区分変更薬品

テトカイン注用 20mg 「杏林」	常備薬品	→	削除薬品
アリメジンシロップ 0.05%	常備薬品	→	削除薬品
ロサルヒド配合錠 LD 「アメル」	常備薬品	→	院外専用薬品

